

令和5年度近畿運輸局バリアフリー化推進功労者表彰

奨励賞

阪急電鉄株式会社

(大阪府大阪市北区芝田一丁目16番1号)

受賞者の
取組

「春日野道駅バリアフリープロジェクト」 によるバリアフリー化の実現

阪急電鉄株式会社は、京阪神の交通ネットワークをつなぐ事業者として、全駅バリアフリー化に向け、全86駅のうち85駅が対応済みと着実に取り組んでいる。

特に、神戸線春日野道駅は、ホーム幅が狭く、JR神戸線と幹線道路に挟まれた高架駅で、かつ運行時間帯での工事が困難であったが、ホーム拡幅によらない整備方法、夜間工事を計画することで、狭隘なホームに可動式ホーム柵を設置することができ、また、高架下の活用やホーム延伸により、新改札口とホームの端をつなぐエレベーターを設置し、バリアフリー化を実現させた。

島型ホーム、ホーム幅が
一番狭い箇所で2.5m



エレベーターと確認モニター



車椅子対応券売機



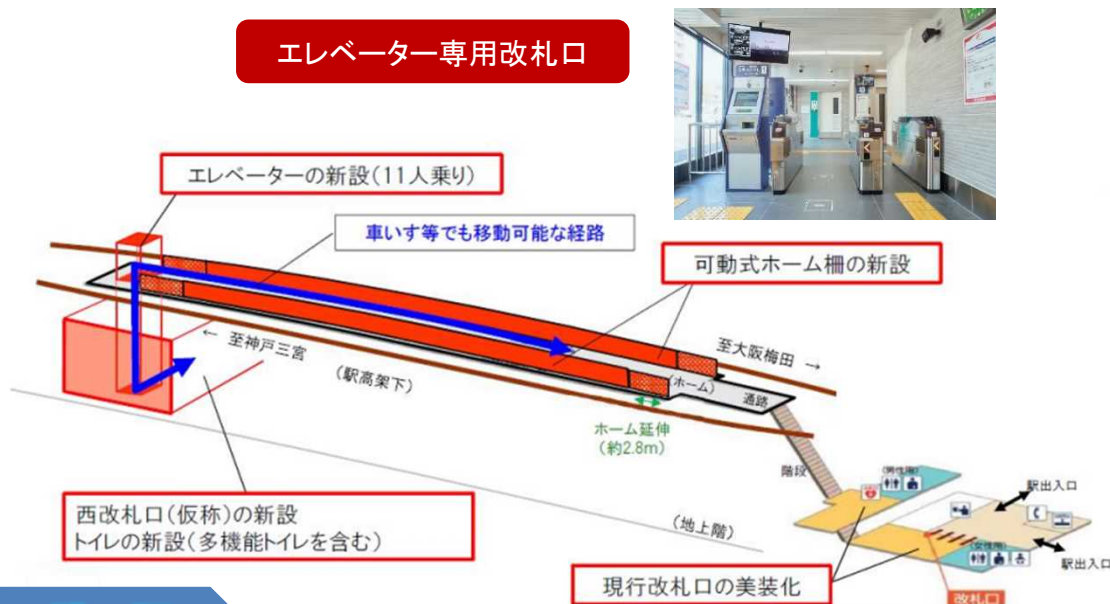
バリアフリートイレ



エレベーター専用改札口



ホームと列車との
段差・隙の軽減
(くし状ゴム設置)



講評

従来から危険性を指摘されていた阪急電鉄春日野道駅の狭小ホームを、ホーム扉の設置により安全を図ったことは、様々な人々にとっての安全上有効な手段と言え、その立地環境上の制約によりホーム拡張は困難だったが、バリアフリー化の観点からホーム扉設置に加え、ホームと改札階を繋ぐエレベーターの設置、ホーム端に櫛状ゴムの設置も合わせて行ったことは評価できる。

特に、狭小ホームへのホーム扉の設置は他の模範となる事例であり、今後、鉄道駅へのホーム扉の設置が加速し、さらに広がることを期待したい。